

## 第2回 神明（明石川等）地域総合治水推進協議会の主な意見と対応

会議名	開催日時	出席者	場所
第2回協議会	平成26年12月19日（金） 10：00～12：00	8名	明石市立文化博物館 大会議室

項目	意見等	対応等	
第1回協議会、第2回ワーキングでの主な意見	避難所での備蓄品の提供	明石市の防災部局で検討を行う。また県としてどのような支援できるか考えていきたい。	
	避難所の看板		避難所を示す看板が非常に見にくい ため、PRをかねてモデル的にわかり やすい看板を作ってほしい。
減災対策	アンケート調査	アンケートの未回答者に、再度アンケートの提出のお願いはしたのか。	未回答者に対して、再度アンケート調査を実施した。
		地域別のアンケート結果の特性について教えてほしい。	再度のアンケート調査の結果を含めて、地域性について整理を実施する。
		消防団、自治会等のリーダーを対象としたアンケート調査であることを記載してほしい。	各団体のリーダーを対象としたアンケート調査であることを明記した。
		自由意見に対する返答はどのように考えているのか。	必要な項目については市との協議のもと個別に返答を実施中。
	訓練等で活用する資料	訓練等で活用できる被害状況について視覚に訴える資料がほしい。	入手可能な動画について整理を行い、提供する。
	民間との連携	民間の「万代百貨店」に2階の駐車場を避難所として開放してほしいと打診している。	今後の経過をフォローアップする。
		西新町に建設中の総合病院では、緊急時の臨時の避難所となることに了解をもらっている。	
	啓発活動の継続	1度や2度の集会だけではなく、防災訓練の体験を通じて広く啓発を実施していく必要がある。	
	情報の伝達	骨子に「モニタリングカメラ」という固有名詞を入れてほしい。	概要版に「神戸市モニタリングカメラシステム」について記載した。
	注意喚起看板	朝霧川、明石川では、河川利用者に対して洪水による急激な増水について注意喚起看板を設置しており、その紹介をしてほしい。	ゲリラ豪雨の検討で、注意喚起看板の写真を掲載した。

第2回 神明（明石川等）地域総合治水推進協議会 出席者名簿

順不同、敬称略

平成26年12月19日

区分	氏名	所属等	出欠	代理	備考
学識経験者	神田 佳一	独立行政法人 国立高等専門学校機構 明石工業高等専門学校 教授	○		座長
兵庫県	真木 高司	東播磨県民局長	○		
	太田 和成	神戸県民センター長		神戸土木事務所長 尾原 勉	
市	末永 清冬	神戸市建設局長		建設局 下水道河川部長 畑 惠介	
	和田 満	明石市副市長		理事（技術担当） 福田 成男	
県民	辻本 照男	西区自治協議会（玉津町自治会）会長 〔神戸市〕			
	敦見 敏明	岩岡自治連合会 会長 〔神戸市〕	○		
	藤本 庸文	王子校区連合自治会 会長 〔明石市〕	○		
	小川 奉文	林校区連合町内会 会長 〔明石市〕	○		